

# 東日本大震災に関する緊急シンポジウム

## 1 趣旨

すでにご承知のように、3月11日に東北・関東地方において発生したM9.0の大地震・津波は我が国に戦後最大の危機をもたらしています。我が国で初の防災・安全の専門学部として昨年誕生した関西大学社会安全学部では、この事態を深刻に受け止め、以下のとおり緊急シンポジウムを開催いたします。

## 2 日時・場所

日時：平成23年3月30日（水）13:00～17:00

入場無料・申込不要

場所：関西大学高槻ミューズキャンパス ミューズホール

※ 満席になり次第、別教室にて映像中継を行いますのでご了承ください。

JR京都線「高槻」駅下車、徒歩10分

阪急京都線「高槻市」駅下車、徒歩10分

## 3 プログラム

13:00 緊急シンポジウム開催にあたって 関西大学長 楠見晴重

13:10 パネリストからの報告

「巨大複合災害としての東日本大震災」

関西大学社会安全学部長・教授 河田恵昭

「地震のメカニズムと特性」

静岡大学防災総合センター・准教授 林 能成  
(4月より関西大学社会安全学部・准教授着任予定)

「津波のメカニズムと特性」

関西大学社会安全学部・教授 高橋智幸

「原子力発電所の被災とその影響」

関西大学社会安全学部副学部長・教授 小澤 守

「ライフラインの被害とその影響」

関西大学社会安全学部・教授 安部誠治

「マクロ経済への影響と経済復興」

関西大学社会安全学部・准教授 永松伸吾

「ボランティアの課題」

関西大学社会安全学部・准教授 菅磨志保

※ その他、現場からの報告者（調整中）にも登壇いただく予定です。

15:35 休憩

15:45 パネルディスカッション

コーディネーター：関西大学社会安全学部・准教授 越山健治

パネリスト：河田恵昭・林 能成・高橋智幸・小澤 守・安部誠治・永松伸吾・菅磨志保

17:00 閉会

総合司会：関西大学社会安全学部・准教授 中村隆宏

※ プログラムの内容は変更されることもあります